

山陰・三朝温泉

旅館

大橋

国登録有形文化財指定旅館

山陰・三朝温泉

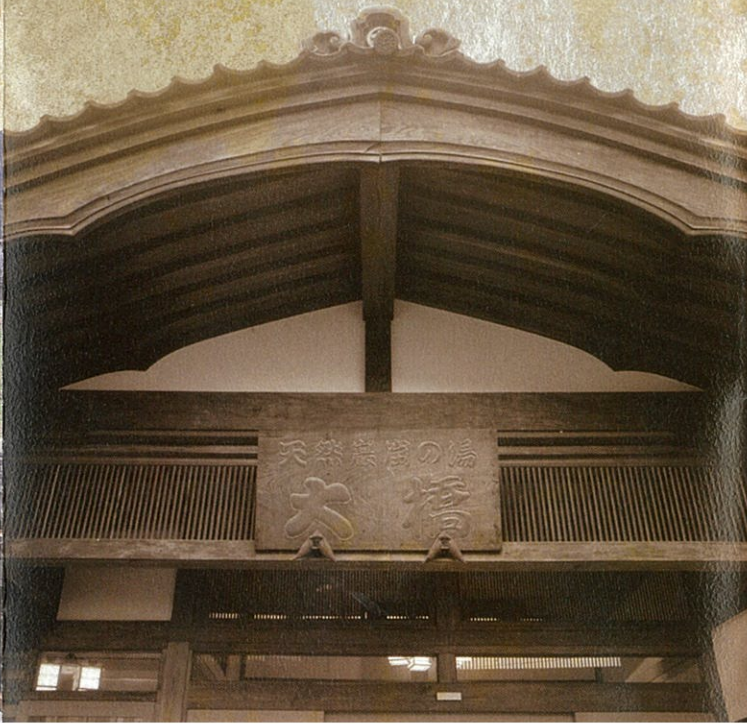
国登録有形文化財指定旅館

政府登録国際観光旅館



旅館 大橋

〒682-0123 鳥取県東伯郡三朝町三朝302-1
TEL.0858-43-0211(代) FAX.0858-43-0215
URL <http://www.o-hashi.net> E-mail o-hashi@o-hashi.net



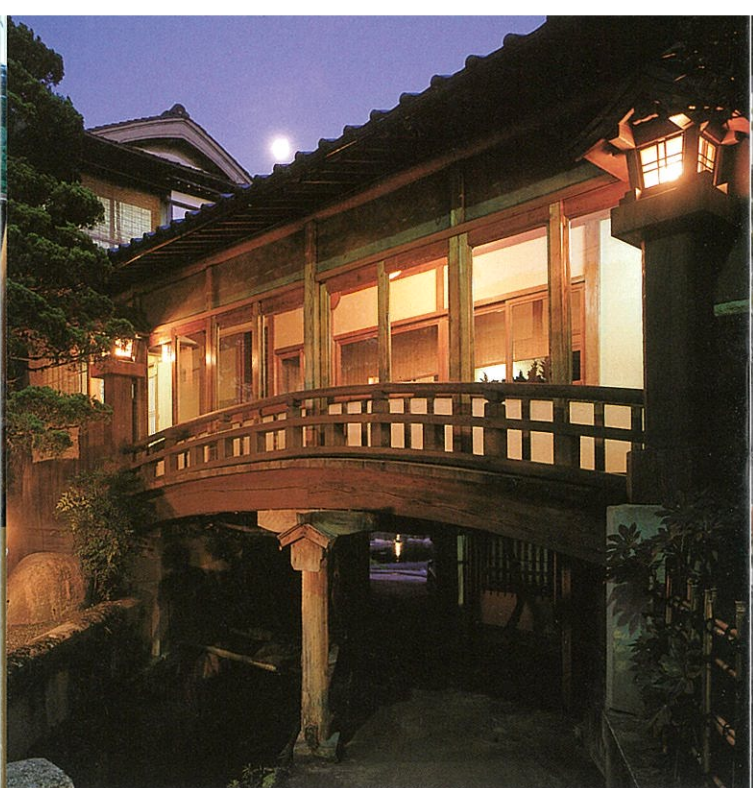
昭和七年の創業以来、その姿を変えることなく
佇む、古い普請の、骨董のような日本の宿。
現代では手に入れる事も困難な近郊各地の
銘木を集め、造りあげた伝統の風格と当館地
下より自噴する天然温泉が、ひとときわ色濃く、
時代の移ろいを伝えていきます。どうぞ存分に
楽しまれて、心置きなくお寛ぎください。

ようこそ にほんの宿へ。



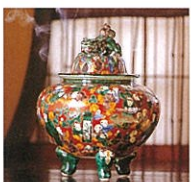
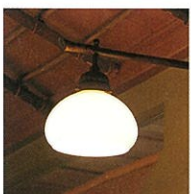
想ひ出は
大
と朝乃
川
の
糸心





日本建築の美を、お楽しみください。

平成九年に「本館」「離れ」「西離れ」「大広間」「太鼓橋」の五箇所が国の文化財に指定されました。それらを全て併せると、ほぼ全館が文化財指定となり全国でも非常に貴重な建物とされています。創業当時、日本建築の最高のものを造るため、お客様をお迎えする客室にも格別の思い入れで、同じ造りのが無いようにと心がけた、宮大工の遊び心もふんだんに取り入れた旅館でございます。粹人がこよなく愛した空間美・建築美をご堪能ください。





準特別室「梅の間」

ひとつとして同じ造りのない客室。

天井や床柱にと各部屋ごと用いた材質により、南天の間は南天の木、桜の間には桜の木、梅の間には梅の木など銘木の名をその部屋に使用しております。客室より三徳川や深緑の森、季節の紅葉が眺められるよう、また決して同じ造りやせぬようにと宮大工が年月をかけた造りあげた遊び、心も満載の客室でございます。この文化財客室にて大切なひと時をお過ごし下さいませ。



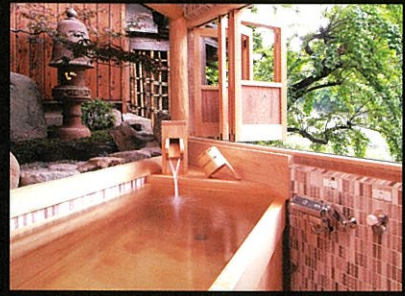
準特別室「南天の間」

露天風呂付客室

檜と陶器の二つの露天風呂を設けた客室畳数18畳の「水仙の間」、6畳二間と露天風呂を2か所設けた「ひさこの間」など、趣のある客室で温泉を満喫し、優雅なひとときをお過ごしください。



露天風呂付準特別室「水仙の間」



露天風呂付客室
「百合の間」
露天風呂



露天風呂付客室
「海棠の間」
露天風呂



露天風呂付準特別室「ひさこの間」

喜ば膏
想い出好の
巖窟湯
華乃

上之湯
トリウム泉

自家源泉五箇所、うち自噴泉三箇所。

「巖窟の湯」は三つの湯船から、それぞれ温泉が自然噴出し「下の湯」中の湯はラジウム泉、「上の湯」に関しては三朝温泉では当館だけが持つトリウム泉がございます。そのトリウム泉は昭和23年に世界一の濃度と言われ、称号も頂くほどのお湯でございます。また、三徳川のせせらぎの音と山の四季を眺めながら入浴できる湯処「せせらぎ」の露天風呂など、当館自慢の掛け流しの三朝の湯を、満喫いただけます。

匠の技で造り出す創作料理。

食のみやこ鳥取県は、おいしい地物がふんだんに揃う、豊かな自然に恵まれた土地柄。四季折々の彩り豊かな品々は、その時だけの旬が楽しめます。素材の良さ、板前の腕、器の選りすぐり、日本料理において欠けてはならない大切な要素を常に整え磨いております。お客様が本当に喜んで頂けるものだけを日々心がけ調理いたしております。



副社長 総料理長

知久惣一

- 平成15年「現代の名工」受賞
- 平成18年「黄綬褒章」受章
- 平成21年 調理師会の殿堂入り
- 「インターナショナル美食アカデミー」賞受賞



ゆるぎない原点
忘れかけていた
真の癒し

[館内施設のご案内]

- 収容人員 / 80名
- 客室 / 20室 (特別室1室、露天風呂付客室4室、一般15室)
- 大広間 / 50畳 ● 中広間 / 30畳 ● 亀平亭 (お食事処) / 30畳
- 天然巖窟の湯
- 湯処「せせらぎ」(露天風呂・内風呂・檜風呂・ホルミスサウナ)
- くつろぎ処「湯庵」 ● 喫茶コーナー ● お土産処 ● 駐車場完備



ロビーから三朝川を眺める



亀平亭 (お食事処)



大広間